

日本経済大学ディプロマポリシー

[経済学部及び経営学部共通]

建学の精神に則り、教育課程の中から指定された単位を含め124単位以上を修得し、知識、社会適応力、総合的な学習経験を獲得し、即戦力である実学を身につけた者に対し、経済学部経済学科・商学科及び経営法学科の者にあつては学士（経済学）の学位を、同学部健康スポーツ経営学科の者にあつては学士（健康スポーツ経営学）の学位を、経営学部経営学科・グローバルビジネス学科及び芸創プロデュース学科の者にあつては学士（経営学）の学位を与え、学位記を授与する。

日本経済大学カリキュラムポリシー

[経済学部]

経済学部では、「個性の伸展による人生練磨」という建学の精神に基づいて、経済学・商学・経営法学・健康スポーツ経営学の各分野に係わる専門の学芸を教授し、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培うとともに、豊かな人間性を涵養し、柔軟性のある人材を育成することを目的に、全学科に共通の「基礎科目」と各学科に設置する「専門科目」の二つを教育課程編成方針の大きな柱とし、それぞれの学科の教育目標に応じたカリキュラムを編成する。「基礎科目」については、豊かな人間性を育む人文科学系、社会科学系、自然科学系、保健体育系及び国際的なコミュニケーション能力を高める語学系の5分野でカリキュラムを編成する。

「専門科目」では、全学科共通の「SD (Self-Development) プログラム」の中に、SA (student-assistant) を活用した少人数のクラス運営によるゼミ科目として「S.D. (自己啓発) Seminar」で始まる導入教育から、「基礎ゼミ」、「専門ゼミ」を配置するとともに、「キャリアデザイン」、「インターンシップ」を配置するなど、キャリア形成支援、就職までの一貫した流れを形成する。

また、学科別の専門分野に係わる授業科目が、それぞれの学科の特色を生かせるよう豊富な専門科目及び関連科目を共にバランスよく年次ごとに編成する。さらに、IT 関連科目として、「情報リテラシー基礎」及び「情報リテラシー応用」を全学科共通の選択科目として配置し、今日の情報化社会への適切な対応ができるよう充実を図る。

〔経済学科〕

経済学科では、経済理論、経済政策、経済組織などの論理的思考を養い、産業界はもとより経済と関わる他分野にも能力を発揮できる人材を育成するため、1年次ではそれぞれの基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「日本経済コース」及び「国際経済コース」を設け、コースに応じた専門的教養を身に付けられるようカリキュラムを編成する。

また、中学校「社会」、高等学校「地理歴史」及び「公民」の教職課程認可を受けているため、効率的、効果的な履修可能なカリキュラム編成に努める。

〔商学科〕

商学科では、商取引に関わる幅広い専門分野を学び、物事を多面的に理解し、総合的に判断・対処できる実践的スキルを兼ね備えたビジネス・スペシャリストを育成するため、1年次ではそれぞれの基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「国際流通ビジネスコース」、「会計・財務コース」、「ホテル・観光ビジネスコース」、「エアラインマネジメントコース」を設け、コースに応じた専門的教養を身に付けられるようカリキュラムを編成する。

また、高等学校「商業」の教職課程認可を受けているため、効率的、効果的な履修可能なカリキュラム編成に努める。

〔経営法学科〕

ビジネス領域の経営学、商学、情報処理などの科目及び企業経営に関連した法律科目をバランスよく学修し、経営実務に対応できるリーガルマインドを備えた人材を育成するため、1年次ではそれぞれの基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「公務員コース」を設け、専門的教養を身に付けられるようカリキュラムを編成する。

また、高等学校「公民」の教職課程認可を受けているため、効率的、効果的な履修可能なカリキュラム編成に努める。

〔健康スポーツ経営学科〕

経済学を基礎として、経営学と保健体育学の知識・技術を学び、スポーツ経営分野における独自性、専門性を兼ね備えたリーダーを育成するため、1年次ではそれぞれの基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「スポーツマネジメントコース」を設け、「トレーニング科学」、「スポーツ指導論」、「スポーツ栄養学」など、スポーツに関連する実践的知識が修得できるカリキュラムを編成する。

また、所定の科目履修により「スポーツリーダー」の取得及び通信制大学等との連携により中学校及び高等学校「保健体育」の教員免許取得が可能となるよう効率的、効果的なカリ

キュラムを編成する。

[経営学部]

経営学部では、「個性の伸展による人生練磨」という建学の精神に基づいて、経営学に関わる専門の学芸を教授し、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培うとともに、豊かな人間性を涵養し、柔軟性のある人材を育成することを目的に、「基礎科目」と「専門科目」の二つを教育課程編成方針の大きな柱とし、学科の教育目標に応じたカリキュラムを編成する。「基礎科目」については、経済学部と同様に、豊かな人間性を育む人文科学系、社会科学系、自然科学系、保健体育系及び国際的なコミュニケーション能力を高める語学系の5分野でカリキュラムを編成する。特に留学生に対する日本語能力向上を図るためのカリキュラムの充実に努めるものとする。

「専門科目」では、経済学部と同様に、「SD (Self-Development) プログラム」の中に、SA (student-assistant) を活用した少人数のクラス運営によるゼミ科目として「S.D. (自己啓発) Seminar」で始まる導入教育から、「基礎ゼミ」、「専門ゼミ」を配置するとともに、「キャリアデザイン」、「インターンシップ」を配置するなど、キャリア形成支援、就職までの一貫した流れを形成する。

また、専門分野に係る授業科目が、学部の特徴を生かせるよう豊富な専門科目及び関連科目を共にバランスよく年次ごとに編成する。さらに、IT 関連科目として、「情報リテラシー基礎」及び「情報リテラシー応用」を全学科選択科目として配置し、今日の情報化社会に適切な対応ができるよう充実に努める。

[経営学科]

経営学科では、経営学、経営管理、経営組織を中心に、現代企業の合理的運営に関する理論研究と実務活動を有機的に学修し、実践的な経営スキルを身に付け、変化の激しい時代をたくましく生き抜く企業人を育成するため、1年次では基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「総合経営コース」、「A I 産業コース」、「起業・事業承継コース」、「経営日本語コース」、「フードマネジメントコース」、「マンガ・ゲーム産業コース」を設け、コースに応じた専門的教養を身に付け、社会に適応する力を獲得するカリキュラムを編成する。

また、高等学校「商業」に加え、渋谷キャンパスでは「地理歴史」、「公民」、中学校「社会科」の教職課程認可を受けているため、効率的、効果的な履修可能なカリキュラム編成に努める。

[グローバルビジネス学科]

グローバルビジネス学科では、経営学、経営管理、経営組織を中心に現代企業の合理的運営に関する理論研究と実務活動を実践的な英語教育により培い、グローバルなビジネスを展開できるスキルを身につけるとともに卓越した英語力を駆使し世界のビジネスシーンで活躍できる企業人を育成するため、基礎（語学系）科目のみならず学科専門科目においても、ビジネスで欠かせない英語力を培う「総合英語」や「アカデミックライティング」などの科目を置く。

また、語学系科目を除く基礎科目および専門科目に、卒業に必要な124単位中、100単位程度は英語による授業を選択することができるようにし、英語での授業を通して、専門的知識や思考力のみならず、ビジネス展開のうえでのハイレベルな会話が英語で可能となるよう授業の達成目標を設定する。

[芸創プロデュース学科]

芸創プロデュース学科では、経営学、経営管理、経営組織を中心に現代企業の運営に関する理論研究と実務活動とを、経営活動の一つである芸能ビジネスの経営管理活動、およびファッションビジネスのマネジメント活動を通じて培い、芸能分野やファッション分野においてビジネスを展開できるスキルを身につけ、世界のビジネスシーンで活躍できる企業人を育成するため、1年次では基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「芸能マネジメントコース」、「ファッションビジネスコース」を設け、コースに応じた専門的教養を身に付け、社会に適応する力を獲得するカリキュラムを編成する。